

Acueil News

アクイール ニュース

令和7年1月号(第131号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 担当 服部

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511

謹賀新年

本年もご利用者の皆様が、アクイールで
穏やかにその人らしい暮らしを送って
いただけるよう職員一同努めてまいりま
す。よろしくご指導お願い致します。



立派な鏡餅ができました

最初のこねが重要 これがかなりの重労働

12月28日に行ったもちつきの様子

手早く丸めて鏡餅に

新年のご挨拶

施設長 渡邊 豊

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、令和7年。昭和100年にあたる年になります。昭和、平成、令和を生き抜かれてこられたご利用者の思い出は、昭和の時代にも多く詰まっていることと思います。昭和と令和を比べてみると、ご利用者の幼少期には、考えられないほどのデジタル技術や、人工知能の発達がなされています。藤子不二雄先生の代表作「ドラえもん」のような人型ロボットも漫画の世界だけではなくています。最近私が驚いたのは、家電の進化です。私は、家で洗濯係を担っていますが24年前に購入したアイロンが壊れてしまったため、買い替えしました。電源を入れハンカチの皺を伸ばしてみると、以前のアイロンとは比べ物にならないほど、スムーズに滑るので驚きました。アイロン一つをとってもそうなので、その他の家電は、省エネルギー化、学習機能やスマホとの連携など、想像以上の便利さなのでしょう。

さて、平成12年4月に介護保険制度が始まって今年で25年が経ちます。措置制度から介護保険制度へ大きな転換を迎えた時です。当時、ヘルパー資格取得がブームとなり、主婦の方が数多く受講して介護の職に就いていました。あれから四半世紀、日本の介護はどう変わってきたのでしょうか？団塊世代の方が後期高齢者となり、施設もそれだけ増えています。生産人口の低下により働き手はどの業界も不足しています。そのため介護の世界にも生産性を向上させるという取り組みが始められています。限られた人員の中で、サービスの質を落とさず、いかに無駄をなくし、効率よく介護をするかを、「IC」やロボットなどを活用して実践していくことです。又(デジタルトランスフォーメーション)は、「デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること」と定義されています。介護保険制度が開始された当時は、感覚や経験値で行っていた介護が、今では利用者の睡眠状態が「見える化」でき、蓄積した情報から、何が必要か科学的根拠に基づいたケアを提供できる時代です。また、インカムが職員同士の連絡ツールになるなど、日進月歩の介護業界です。夜間に何度も巡回しながら、利用者を起こさないように寝息を聞いて確認したり、広い施設の中で職員がどこにいるのか探し回っていた時代が懐かしく思います。

アクイールも最新のシステムを導入して能率的な介護を目指してまいります。しかしながら、これらは一つの道具でしかありません。一番大切なのは、「人と人」「心と心」です。最新の技術と人の温かさが融合して愛情2倍の介護が提供できるよう、職員一丸となってご利用者、ご家族の生活を支えてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「嫁入り道具に持ってきたアイロンが24年ということは、来年は銀婚式ではありませんか。」と思いきや新年を迎えました。みなさまにとって良い年でありますようにお祈りしながら新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

一年の邪気を払い、長寿をもたらすとされ古から受け継がれている風習の一つであるお屠蘇。昨今ではご家庭で行われているところも少なくなっているようですが、ご利用者の世代ではやはり特別な思いがある方が多いようです。

着物の施設長と栄養士がお屠蘇を携えてご挨拶すると、皆さん違わず神妙な様子になり、盃に注がれたお屠蘇をうれしそうに召し上がります。

下戸の方でも口をつけるだけでも喜ばれ、好きな方はおかわりを希望されたり。おせち料理を召し上がっていただくお昼の時間に、お一人お一人にご挨拶回りをさせていただく、アクイールでの元旦恒例行事です。



おみくじも引いてもらいました。皆さん「吉」が出てうれしそう。

新年会

いおり・わたぼうし



いおり・わたぼうしユニットで行われた新年会の様子ををご紹介します。お茶の時間にいつもより豪華なケーキバイキングをご用意しました！



その後余興として、いおり、わたぼうしご利用者・職員対抗のゲーム大会を開催！負けたユニットの職員はハリセンで叩かれるという罰ゲームあり、大いに盛り上がりました！

【感染症に関する研修】



年2回実施されている感染症の研修ですが、今回は「疥癬」について、基礎知識の整理と共に感染者が発生した場合の対応について再確認を行いました。

看護師による講義の後、参加職員には、居室対応をさせていただく場合に必要な物品の準備や居室への設置等を、マニュアルを確認しながら実際に進めてもらっています。

コロナウイルス・インフルエンザ・疥癬等の感染症への対応は、発生時にいかに迅速に冷静に対応できるかが重要です！

